

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	不法投棄防止事業			事業コード	2273
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課	担当係名		
	課長名	千葉 良高	担当者名	小笠原 雅彦	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 不法投棄防止事業(006-03)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 15年度～)		
事務事業の概要	きれいな街づくりと生活環境保全のため、不法投棄防止の啓発を行うとともに不法投棄された廃棄物の適正処理・指導を行なっている。					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第5条3項及び第16条)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成13年特定家電の再資源化義務付け以降、不法投棄が増加したことから、平成15年度に不法投棄監視員制度を設け不法投棄の早期発見及び防止に取り組んできた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成21年3月議会において、地上波デジタル放送と家電ごみ不法投棄の増加について質問が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
平成23年7月地上波デジタル放送への全面切替に伴う、テレビの不法投棄増加が懸念されており、より一層の対策が必要となる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	不法投棄された廃棄物	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 不法投棄件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 不法投棄監視員による不法投棄の早期発見及び拡大を防止し、関係課と連携を取りながら、広報及びパトロールを実施し、市民への不法投棄防止の啓発を図った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 不法投棄監視員を配置し、不法投棄の未然防止・早期発見を図るとともに、看板設置等により不法投棄の未然防止を図る。また、通行人の多い交差点に、ポイ捨てを行わないよう啓発用シールを貼り、マナー向上を呼びかける。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 不法投棄通報件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	不法投棄は犯罪であるという意識を周知し、不法投棄の防止と生活環境の保全に努める。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 処理件数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B. 未処理件数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	不法投棄件数	件	不明	不明	不明	不明	不明	不明	26年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	不法投棄通報件数	件	103	107	107	140	140	140	26年度 140
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	処理件数	件	89	97	107	133	140	140	26年度 140
成果 指標B	未処理件数	件	14	10	0	7	0	0	26年度 0
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	419	541	460	593	1,458	460	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	419	541	460	593	1,458	460	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	419	541	460	593	1,458	460	*****
	延べ業務時間数	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,419	8,541	8,460	8,593	9,458	8,460	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 廃棄物の不適正処理の防止と適正処理の啓発は、きれいな街づくり及び生活環境の保全に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 事務を効率的に行うことで、不法投棄の未処理件数を減少させる必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 不法投棄は未だ多数発生しており、不法投棄の早期発見・対応を行わない場合、被害は拡大し生活環境の保全を保つことができなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 県が実施するスカイパトロールや、国で行っている不法投棄監視ウィーク ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 県や市の関係課と連携し情報交換や合同パトロールを実施しているところであるが、不法投棄は不定期かつ年中発生していることから、常に監視活動及び撤去を行っていかねばならない。
効率性 評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 不法投棄監視員の人数や報酬及び家電リサイクル手数料を最小の経費でまかなっており削減できない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 他の業務を兼務して対応しており削減することは難しい。
公平性 評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること</p> <p>(1)町内会等地域の環境美化活動が積極的に行われるようになり、その清掃を行政が支援することで地域の生活環境の保全に努めていく。(2)警察や国等関係機関と連携を強化し、また、不法投棄の犯罪性をPRすることで、不法投棄が行われにくい環境を作り上げていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>不法投棄防止のためには監視体制の強化が必要であるが、人家の少ない場所等の監視は困難な状況にある。不法投棄は個人のマナーやモラルの問題が大きいことから、マナーの向上を図っていく啓発活動を行っていく。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>不法投棄監視員による不法投棄の早期発見や関係機関と連携したパトロールを行い、不法投棄物の撤去と啓発活動を行った。今後、地上デジタル化への全面切替によりテレビの不法投棄の増加が懸念されることから、なお一層の対策が必要となっている。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>不法投棄の現状を見ると啓発等による効果が見られず、なお一層の早期発見及び拡大防止に努める必要があることから、今後も継続して事業展開していくとともに、より多くの関係機関や団体等と連携をとりながら不法投棄防止の啓発方法に工夫を凝らしなど広報周知を図っていく。</p>														